

# 令和4年度 事業報告

公益財団法人 熊本県総合保健センター

# 目 次

1	総括	P1
2	令和4年度基本戦略及び事業戦略の取り組みについて	P1
	(1)基本戦略について	
	(2)事業戦略について	
	(3)新施設建設について	
3	保健事業実績	P4
	(1)地域保健	
	(2)職域保健	
	(3)学校保健	
	(4)特定保健指導	
	(5)精度管理	
4	普及啓発活動	P10
	(1)自主事業	
	(2)支部事業	
	(3)協力事業	
5	健康経営（SOUHO革命）	P12
6	学会発表等	P12
7	その他	P15
	(1)熊本県集団検診機関連絡会	
	(2)熊本県胃検診推進協議会	
	(3)全衛連九州地方協議会	
	(4)結核予防全国大会	
	(5)主な行事	
	(6)学会・研修会等参加状況	
	附属明細	P18

## 1 総括

令和4年度の事業実績については、地域保健は245,566人（前年度比108%）、職域保健は107,759人（前年度比99%）、学校保健は20,648人（前年度比111%）となり、合計は373,973人（前年度比106%）となった。

地域保健においては、引き続き新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながらの事業展開となった。コロナ禍の収束が不透明の中、地域の特定健診、がん検診においては、コロナ禍前の令和元年と比較し、受診数を約93%まで戻すことができた。

職域保健では、競合他社へ移行した事業場があり、健診の質と金額面での両立が課題となっている。

特定保健指導については、巡回、施設ともに、「健診と特定保健指導の一体化」として、健診当日の保健指導を強化することで実績を大きく増やした。（昨年度比135%）

これらのことから、「熊本県健康増進計画(第4次くまもと21ヘルスプラン)」、「第3次熊本県がん対策推進計画」の趣旨、計画及び目標に基づき、生活習慣病に係る特定健康診査や保健指導、がんの二次予防である各種がん検診を担う健診機関として、コロナ禍でも受診しやすい健診体制を提供し、がん等の早期発見など県民の健康維持に寄与できたのではないかと考える。

## 2 令和4年度基本戦略及び事業戦略の取り組みについて

### (1) 基本戦略

総務部において、経営基盤確立のため、①生産性向上、②人材力強化、③組織風土改革、④コンプライアンスの4つを戦略に取り組んでいる。その中で令和4年度は、社会保険の加入要件の改正等に伴い、臨時職員の雇用形態を見直し、法令との整合性を図るとともに、賃金制度の時給への一本化、年休付与制度の簡明化、1ヶ月間の変形労働時間制も併せて導入した。

また、令和3年度に新設した再雇用委嘱職員の短時間勤務制度を医療職まで対象を拡大し、多様な働き方の選択肢を提供した。

更に、人材育成の一環として、新規採用職員研修において各部局の業務を日替わりで体験する現場研修をプログラムに組み入れ、また、班長以上を対象としたリーダー研修において、外部研修を受講した職員を講師とした組織マネジメント研修を実施した。

最後に、令和4年度も引き続き、健康経営について施設内外において普及啓発を行った。

### (2) 事業戦略

#### ① 健康管理部

新健診システムが稼働して2年目となり、稼働初年度となった昨年度よりはシステムの不具合や設定の不備等による障害件数は削減したものの、初年度見えなかったもの（結果データ、集計・統計等）の不備が発生してしまった。

また、運用するにあたり、内外から多くの要望等も発生しているため、全体最適の観点から運用の見直し、改善に取り組み、安定稼働に努めていく。

特定保健指導については、初回支援実施数 3,548 名（前年比 135%）であった。施設では施設健診部の協力のもと、「健診と特定保健指導の一体化」として健診の流れに初回支援を取り込むこと、人間ドック受診の方で午後からの結果説明を聞かずに帰る方の初回支援を実施することにより、2,186 名（前年比 131%）と増加した。巡回では職域健診分は新規事業所への訪問に加え、巡回健診部の協力のもと、後日訪問実施の受入れが難しい事業所については健診当日の初回支援実施を一部導入した。「腹囲・BMI・服薬歴」で対者を抽出し面談、血液検査結果判明後、電話を行い初回支援完了する方法で、101 名を実施した。地域健診分は 786 名（前年比 107%）であったが、巡回健診分は 1,362 名（前年比 143%）と増加した。また 2 つの健康保険組合より、特定保健指導対象外の若年者及び重症化予防対象の保健指導の委託を受け、75 名の面談を行った。

健診結果説明会については前年度 2 市町村から増加したものの、5 市町村実施に留まった。そこで、YouTube による健康情報の提供を始め、健診結果にチラシを同封し周知した。

精密検査受診率向上については、令和元年度に、受診勧奨通知の封筒の色を目立つオレンジ色に変更し、令和 3 年度は「コロナ下でも精密検査は重要である」ことを伝えるチラシを作成するなどの工夫を行った。また、平成 30 年度から令和 3 年度の地域における 5 がん検診では精検受診率の許容値は超えているが、①各がん検診ともに若年層の受診率が低い②検診種別では大腸がん検診からの精密検査の受診率が低いという課題について、地域保健研修会で市町村等に周知した。今後、課題解決に向けて取り組んでいく。

令和 2 年 8 月に設立された「人生 100 年くまもとコンソーシアム」事業について、前年度に引き続き熊本県から事務局を受託した。事務局として企画立案した市町村向け事業報告会の中では、市町村が効果的に保健事業を展開するために、令和 3 年度の制作物を活用したポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチを組み合わせた事業の提案を行った。また、新たに「オール熊本」での一体的な取組による予防・健康づくりを加速化するため、関係団体と地域・職域の効果的な連携に向けての対応策の検討や関連する団体との連携について協議を行った。その結果、既存の協議体の課題や取組状況等を整理し、今後の連携のあり方について検討できた。加えて、市町村への専門職の人材派遣体制構築のため、保健事業に活用できる専門職の人材派遣情報一覧における団体を追加した。

## ② 巡回健診部

健診計画の平準化について、職員の休日を確保するため、各受託先の自治体と協議を行った。また、機材運搬車を超音波検査が可能な構造に改造し、超音波検査対応数を拡大するなど、繁忙期対策推進のための下地作りを行った。

子宮頸がん検診の液状化細胞診（LBC）導入について、実施自治体、医療機関及び県内健診機関との課題調整を行い令和 5 年度からの本稼働に努めた。

ICT 活用について、手書き運行ボードを無くし、システムによる配車・スタッフ配置の一元管理に移行した。

また、渉外部門である巡回企画室に問診票等準備や電話対応を行う事業支援班を設置し渉外担当者が顧客開拓に注力できる体制を整備した。

### ③ 施設健診部

受診者のニーズに合致するような新規検査を検討し、Lox-index（脳梗塞・心筋梗塞の発症リスクを予測する検査）及び sd-LDL コレステロール（超悪玉コレステロール）検査導入の体制を整えた。

2日ドックの健診結果説明については、従来全ての検査が終了した2日目の午後から実施していたが、待ち時間が長くなるなどの課題があったため、検査スケジュールを見直し、1日目の検査終了後に結果の説明を行い、2日目の検査（胃内視鏡、大腸内視鏡）については内視鏡担当医師、または看護師による結果説明にて終了し、帰宅できるよう変更することにより受診者の利便性向上に努めた。

また、休日健診においてはがん検診のみを行っていたが、特定健診を同日に実施としたことによる受診数の増加を見た。

業務効率化については、ICTの活用として、Web予約・問診導入に向け、健診システムベンダーからオンラインでの説明会の実施や、当施設と同じ健診システムを導入し、Web予約・問診システムを活用している関東地方の医療機関への視察を行い情報収集に努めた。

最後に、熊本市内に健康診断専門施設が開所した。今後の影響について注視するとともに、受診数の維持、確保に努めていく。

### （3）新施設建設計画

基本構想を基に、基本計画を策定中。また、建設地について、近隣の土地を検討した結果、現地建替えに決定した。

### 3 保健事業実績

当センターが実施する保健事業は、「地域保健」、「職域保健」、「学校保健」の3つに分けられ、令和4年度実績数は、以下のとおりである。

#### (1) 地域保健

##### ① 巡回健診

(単位：人)

健（検）診項目	令和4年度 計画 A	令和4年度 実績 B	計画比 (B-A)	令和3年度 実績 C	実績比 (B-C)	増減率 B/C
特定健康診査	20,810	22,965	2,155	21,929	1,036	105%
ふるさと総合健診	8,230	8,467	237	8,293	174	102%
胃がん検診	13,980	14,674	694	14,137	537	104%
子宮頸がん検診	13,095	13,898	803	13,088	810	106%
乳がん検診	19,685	20,454	769	19,094	1,360	107%
肺がん検診	31,630	34,506	2,876	31,470	3,036	110%
大腸がん検診	20,725	21,238	513	19,943	1,295	106%
結核検診	38,060	40,533	2,473	37,714	2,819	107%
骨粗鬆症検診	6,865	7,926	1,061	6,892	1,034	115%
腹部超音波検診	29,240	31,788	2,548	29,215	2,573	109%
その他	10,958	10,977	19	7,049	3,928	156%
小計	213,278	227,426	14,148	208,824	18,602	109%

##### ② 施設健診

(単位：人)

健（検）診項目	令和4年度 計画 A	令和4年度 実績 B	計画比 (B-A)	令和3年度 実績 C	実績比 (B-C)	増減率 B/C
特定健康診査	2,002	2,167	165	2,023	144	107%
日帰りドック等	779	812	33	851	△ 39	95%
胃がん検診	1,489	1,434	△ 55	1,476	△ 42	97%
子宮頸がん検診	1,941	1,992	51	2,005	△ 13	99%
乳がん検診	2,367	2,523	156	2,532	△ 9	100%
肺がん検診	2,354	2,476	122	2,432	44	102%
大腸がん検診	1,997	2,186	189	2,254	△ 68	97%
結核検診	2,318	2,456	138	2,406	50	102%
その他	1,986	2094	108	1601	493	131%
小計	17,233	18,140	907	17,580	560	103%

地域保健	令和4年度 計画 A	令和4年度 実績 B	計画比 (B-A)	令和3年度 実績 C	実績比 (B-C)	増減率 B/C
合計	230,511	245,566	15,055	226,404	19,162	108%

(2) 職域保健

① 巡回健診

(単位：人)

健（検）診項目	令和4年度 計画 A	令和4年度 実績 B	計画比 (B-A)	令和3年度 実績 C	実績比 (B-C)	増減率 B/C
法定外	5,110	4,439	△ 671	2,966	1,473	150%
法定	15,070	13,545	△ 1,525	17,236	△ 3,691	79%
生活習慣病予防コース	1,845	2,218	373	1,657	561	134%
協会健保（一般）	4,560	4,360	△ 200	4,422	△ 62	99%
特殊健診	9,020	14,474	5,454	13,648	826	106%
特定健康診査	1,565	1,442	△ 123	1,340	102	108%
結核検診	950	1,022	72	1,496	△ 474	68%
胃がん検診	465	514	49	431	83	119%
子宮頸がん検診	350	310	△ 40	425	△ 115	73%
乳がん検診	390	367	△ 23	389	△ 22	94%
大腸がん検診	3,500	3,436	△ 64	3,654	△ 218	94%
腹部超音波検診	1,330	1,371	41	1,090	281	126%
その他	9,625	5,410	△ 4,215	6,655	△ 1,245	81%
小計	53,780	52,908	△ 872	55,409	△ 2,501	95%

② 施設健診

(単位：人)

健（検）診項目	令和4年度 計画 A	令和4年度 実績 B	計画比 (B-A)	令和3年度 実績 C	実績比 (B-C)	増減率 B/C
法定外	452	359	△ 93	241	118	149%
法定	7,349	9,595	2,246	9,782	△ 187	98%
生活習慣病予防コース	2,411	2,602	191	2,236	366	116%
協会健保（一般）	9,998	10,040	42	9,973	67	101%
協会健保（ドック）	1,974	2,080	106	2,042	38	102%
各種人間ドック	3,584	3,447	△ 137	3,435	12	100%
特殊健診	1,688	2,701	1,013	2,523	178	107%
特定健康診査	884	762	△ 122	863	△ 101	88%
結核検診	256	83	△ 173	34	49	244%
胃がん検診	364	337	△ 27	281	56	120%
子宮頸がん検診	4,125	3,531	△ 594	3,967	△ 436	89%
乳がん検診	5,136	4,041	△ 1,095	4,526	△ 485	89%
大腸がん検診	727	536	△ 191	509	27	105%
その他	17,930	14,737	△ 3,193	12,620	2,117	117%
小計	56,878	54,851	△ 2,027	53,032	1,819	103%

職域保健	令和4年度 計画 A	令和4年度 実績 B	計画比 (B-A)	令和3年度 実績 C	実績比 (B-C)	増減率 B/C
合計	110,658	107,759	△ 2,899	108,441	△ 682	99%

(3) 学校保健

① 教職員

(単位：人)

健（検）診項目	令和4年度 計画 A	令和4年度 実績 B	計画比 (B-A)	令和3年度 実績 C	実績比 (B-C)	増減率 B/C
結核検診	6,340	6,342	2	6,484	△ 142	98%
結核検診（精密）	0	0	0	0	0	0%
胃がん検診	2,780	2,319	△ 461	2,512	△ 193	92%
小 計	9,120	8,661	△ 459	8,996	△ 335	96%

② 学生

(単位：人)

健（検）診項目	令和4年度 計画 A	令和4年度 実績 B	計画比 (B-A)	令和3年度 実績 C	実績比 (B-C)	増減率 B/C
結核検診	10,450	10,406	△ 44	10,082	324	103%
結核検診（精密）	0	0	0	0	0	0%
ツベルクリン反応・BCG	0	0	0	0	0	0%
尿・心電図・貧血・診察	0	1,581	1,581	111	1,470	1424%
小 計	10,450	11,987	1,537	10,193	1,794	118%

学校保健	令和4年度 計画 A	令和4年度 実績 B	計画比 (B-A)	令和3年度 実績 C	実績比 (B-C)	増減率 B/C
合計	19,570	20,648	1,078	19,189	1,459	108%

～ 実績合計 ～

(単位：人)

巡回健（検）診	令和4年度 計画 A	令和4年度 実績 B	計画比 (B-A)	令和3年度 実績 C	実績比 (B-C)	増減率 B/C
合計	286,628	300,982	14,354	283,422	17,560	106%

(単位：人)

施設健（検）診	令和4年度 計画 A	令和4年度 実績 B	計画比 (B-A)	令和3年度 実績 C	実績比 (B-C)	増減率 B/C
合計	74,111	72,991	△ 1,120	70,612	2,379	103%

(単位：人)

総合計	令和4年度 計画 A	令和4年度 実績 B	計画比 (B-A)	令和3年度 実績 C	実績比 (B-C)	増減率 B/C
	360,739	373,973	13,234	354,034	19,939	106%

(4) 特定保健指導

特定保健指導は、センターが実施する健康診断の受診者に対して行う保健事業である。健診受診後の生活習慣改善につなげるための重要な事業である。保健師、管理栄養士等が、センター施設内及び各地域へ出向き実施する。

[地域 巡回]

(単位：人)

特定保健指導項目	令和4年度 計画 A	令和4年度 実績 B	計画比 (B-A)	令和3年度 実績 C	実績比 (B-C)	増減率 B/C
動機付け支援	541	636	95	581	55	109%
積極的支援	134	150	16	153	△ 3	98%
合計	675	786	111	734	52	107%

[地域 施設]

(単位：人)

特定保健指導項目	令和4年度 計画 A	令和4年度 実績 B	計画比 (B-A)	令和3年度 実績 C	実績比 (B-C)	増減率 B/C
動機付け支援	52	79	27	46	33	172%
積極的支援	15	22	7	13	9	169%
合計	67	101	34	59	42	171%

[職域 巡回]

(単位：人)

特定保健指導項目	令和4年度 計画 A	令和4年度 実績 B	計画比 (B-A)	令和3年度 実績 C	実績比 (B-C)	増減率 B/C
動機付け支援	99	194	95	68	126	285%
積極的支援	222	382	160	150	232	255%
合計	321	576	255	218	358	264%

[職域 施設]

(単位：人)

特定保健指導項目	令和4年度 計画 A	令和4年度 実績 B	計画比 (B-A)	令和3年度 実績 C	実績比 (B-C)	増減率 B/C
動機付け支援	517	756	239	630	126	120%
積極的支援	998	1,329	331	978	351	136%
合計	1,515	2,085	570	1,608	477	130%

～ 特定保健指導 実績合計 ～

(単位：人)

特定保健指導項目	令和4年度 計画 A	令和4年度 実績 B	計画比 (B-A)	令和3年度 実績 C	実績比 (B-C)	増減率 B/C
動機付け支援	1,209	1,665	456	1,325	340	126%
積極的支援	1,369	1,883	514	1,294	589	146%
合計	2,578	3,548	970	2,619	929	135%

## (5) 精度管理

がん検診における精度管理のひとつとして、検診後の精密検査結果を把握し、その集計統計から発見されるがんの数等を全国レベルと比較している。また、発見されたがんについては「発見がん個票」を作成し、がんのステージや組織、分類等について追跡調査を行い、関係市町村と連携し受診者の事後管理に努めている。なお、日本対がん協会へ報告を行った令和2年度におけるがん検診の実績は下表のとおりである。

また、熊本県からの受託事業として実施している「がん登録事業」は、県内の医療機関の協力により、全国がん登録に係るデータ 22,505 件、地域がん登録に係るデータ 22 件を受理し国に設置されたデータベースへの登録を行った。

それに付随して令和2年度の病院別に実施する遡り調査を 360 件実施した。

また、各医療機関から提供されたデータを対象に、がんに係る調査研究目的のため申請があった9医療機関に 33,682 件の予後情報の提供を行った。

		要精検率 (%)	精検受診率 (%)	がん発見数 (人)	がん発見率 (%)
肺がん検診	センター	0.18	87.64	10	0.02
	全国	1.93	78.06	1,136	0.04
胃がん検診	センター	2.58	66.85	22	0.05
	全国	5.55	72.40	1,418	0.09
大腸がん検診	センター	7.14	63.06	57	0.11
	全国	6.04	65.11	3,246	0.15
子宮頸がん検診	センター	2.94	83.20	7	0.02
	全国	1.60	80.81	125	0.01
乳がん検診	センター	3.95	85.65	68	0.24
	全国	4.26	89.14	2,439	0.26
総 数	センター			164	
	全国			8,364	

※1 全国実績については「令和2年(2022年)度版がん検診年次報告書(日本対がん協会)」より記載

※2 胃がん検診の発見がん数には、内視鏡を含む

※3 子宮頸がん検診の発見がんは浸潤がんと腺がんの合計

### がん検診のプロセス指標(許容値)

指 標	肺がん	胃がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
要精検率	3.0%以下	11.0%以下	7.0%以下	1.4%以下	11.0%以下
精検受診率	70%以上	70%以上	70%以上	70%以上	80%以上
がん発見率	0.03%以上	0.11%以上	0.13%以上	0.05%以上	0.23%以上

また、外部機関評価は以下のとおりである。

(1) 全国労働衛生団体連合会	胸部 X 線検査	評価 A
	胃部 X 線検査	評価 A
	臨床検査分野	評価 A
(2) 結核予防会	胸部 X 線画像評価	判定 A
(3) 日本乳がん検診精度管理 中央機構	乳房 X 線画像	評価 B
(4) 熊本県臨床検査精度管理	生化学	判定 A
	尿一般	判定 A
	血液	判定 A
	生理	判定 A
(5) 日本医師会	臨床検査精度管理	判定 A
(6) 日本臨床衛生検査技師会	臨床化学	評価 A+B
	免疫血清	評価 A+B
	血液	評価 A+B
	一般	評価 A+B
(7) 熊本県医師会 熊本県臨床検査技師会	標準化サーベイ (第 96～99 回)	良好

## 4 普及啓発活動

法人独自による公益目的事業のための普及啓発活動はもとより、公益財団法人結核予防会及び公益財団法人日本対がん協会の熊本県支部としての普及啓発を行っている。

今年度も新型コロナウイルス感染症拡大のため中止したイベントなどもあるが、動画配信等による普及啓発も行った。

### (1) 自主事業（健康講話等）

健診を実施している事業場より依頼を受け、健診後の生活習慣改善や、睡眠、腰痛予防、女性の健康問題等についての講話を行った。

また、自治体より特定保健指導実施者向けのセミナーの講師依頼があり、時間栄養学、喫煙についての講話を行った。

コロナ下で集団結果説明会の実施が難しいため、YouTube を活用し、健康情報の発信を行った。今後もコンテンツを追加予定である。

#### 令和4年度作成のコンテンツ（YouTube）

結果票の見方について
コロナ下での「いきいき健康生活」のすすめ
バランスの良い食事のすすめ
禁煙のすすめ（タバコについて）（禁煙のポイント）
がんってなあに？
Let'sがん予防
あなたの血管は大丈夫

### (2) 支部事業

#### ① 複十字シール運動

例年、複十字シール運動（8月1日～12月31日）開始に合わせ、熊本県健康を守る婦人の会役員、当センターマスコットキャラクター「そうほくん」とともに、蒲島郁夫熊本県知事を表敬訪問し、結核の現状及び複十字シール運動の趣旨説明や運動への協力をお願いしている。しかし、昨年度と同じく新型コロナウイルスの感染症拡大により急遽中止となった。

なお、今年度の募金総額は、コロナ禍においても健康を守る婦人の会の御尽力により、5,455,697円であった。

② 結核予防・がん征圧街頭キャンペーン

令和4年9月23日(金) 熊本市 熊本市動植物園

全国一斉結核予防週間及びがん征圧月間(9月)に係る行事として、県民への結核・がんに対する正しい知識の普及啓発のため、熊本県健康を守る婦人の会熊本市支部及び熊本市の感染症対策課・健康づくり推進課とともに、無料の結核検診をはじめ、結核パネルや肺がんモデルの展示、結核予防に関する資料の配布、複十字シール運動募金及び健康相談、がん検診無料デジタルクーポン券配布を行った。

③ リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2022 くまもと

令和4年5月15日(日) 動画配信

例年、がん患者支援・がん啓発24時間ウォークチャリティーイベント「リレー・フォー・ライフ」が熊本市白川公園にて開催されているが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大により、実行委員会のみで開会式、ルミナリエ、エンブティテーブルを撮影し、動画配信を行った。

(3) 協力事業

① ジャパン・マンモグラフィー・サンデー 【令和4年10月17日(日)】

子育て・介護・仕事など多忙な日々を過ごす女性のため、「10月の第3日曜日に全国どこでもマンモグラフィー検査が受診できる環境作り」を提唱する「ジャパン・マンモグラフィー・サンデー(JMSプログラム)」に賛同し、乳がん検診をはじめ、肺がん検診、胃がん検診、大腸がん検診、子宮頸がん検診、特定健診を当センター施設で実施した。

なお、実施数は以下のとおりであった。

- ・乳がん検診・・・52名
  - ・肺がん検診・・・91名
  - ・胃がん検診・・・70名
  - ・大腸がん検診・・・89名
  - ・子宮がん検診・・・46名
  - ・特定健診・・・51名
- 実施総数 160名

② テレビ出演による普及啓発活動

- ・テレビくまもと「てれくま医療情報室」(熊本県医師会へ協賛)

令和4年8月31日(水)「がん征圧月間」 村上 晴彦 医師

令和4年9月21日(水)「結核予防週間」 村上 友佳 医師

- ・テレビくまもと「くらしの窓」(熊本県医師会へ協賛)

令和5年1月7日(土)「肝機能検査」 上田 城久朗 医師

## 5 健康経営「SOUHO革命」

国が推奨する「健康経営」について、センター職員の自己健康管理能力を高め、心身の健康を向上させ、センター経営の発展につなげることを目的に「SOUHO革命」と称し、①栄養、②運動、③禁煙、④睡眠の4つの柱を置いたプログラムを策定している。

昨年度は新型コロナウイルス感染対策で、スポーツ大会等の大人数が集まるプログラムは中止したが、今年度は「運動」や「コミュニケーション」の促進を図るため、大縄跳び大会、歩数アップ大会、ヨガ体験を実施した。また、昨年度より引き続き保健師・管理栄養士・運動指導士のサポートにより、「栄養」と「運動」の面から体調・体重管理を行う「ボディメイク！チャレンジ☆」や、「栄養」の面から野菜レシピ募集、置き型社食を実施した。「睡眠」の面からは、リラックスセミナーを実施した。更に、今年度は新たに「女性特有の健康関連課題」に着目し、女性の健康セミナー（動画教材）を実施した。

また、今年度も全国健康保険協会（協会けんぽ）熊本県支部の呼びかけで、従業員の健康増進に取り組む企業の連携を目的として設立された「くまもと健康企業会」に、幹事企業として定例会等に参加した。

さらに、経済産業省の健康経営優良法人認定制度（大規模法人部門）において上位500社に与えられる「健康経営優良法人2022（ホワイト500）」の認定を受けた。

## 6 学会発表等

### （1）第103回 日本消化器内視鏡学会総会

令和4年5月14日  
京都市 / WEB参加

「熊本市胃がん検診における当センターの内視鏡検査の成績」

医師 上田城久朗

熊本市では2019年4月より対策型検診として胃内視鏡検査における胃がん検診を行っている。2019年4月から2021年3月までの2年間で当センターを含む胃内視鏡検査（検診）実施機関で7022件の対策型検診が行われた。

7022件中、30例の胃がん症例と5例の食道がん症例を認め、同時期の当センターでの熊本市胃がん検診における胃内視鏡検査244件で胃がんを1例、食道がんを3例認めた。自施設を除く他施設（群）と自施設の胃がんと食道がんの発見についてChi-squared testで統計学的解析を行ったところ、胃がんについてはp値1.0・オッズ比0.96であったが、食道がんについてはp値<0.001・オッズ比42.17と有意差を認めた。当センターで行った熊本市胃がん検診における胃内視鏡検査のプロセス指標を算出したところ、全項目で目標値ないし許容値を達成していた。

対策型検診における当センターでの胃内視鏡検査は、他施設との比較及びプロセス指標の結果から満足できる成績であった。

(2) 第 61 回 日本消化器がん検診学会総会

令和 4 年 6 月 11 日

大津市 / WEB 参加

①大腸附置研究会

「対策型検診におけるスクリーニング目的の TCS を担当する  
大腸内視鏡検診医に求められる資質」

医師 村上晴彦

【対策型検診についての正しい理解】

まずは、対策型がん検診の目的は「早期大腸がんの発見ではなく、あくまでも『住民（対象集団）の死亡率減少』」であり、そのターゲットは「自覚症状がない比較的早期の『外科手術によって治癒する』進行がん」であることを理解している。また、目の前の受診者の利益だけでなく対象集団全体にとっての検査効率・費用対効果・偶発症低減などを意識しながら検査を行うことができる。

【検査精度】

「ポリープ発見率（PDR）」、「腺腫発見率（ADR）」、「正常症例抜去時間」、「苦痛度」、「盲腸到達時間」、「盲腸到達率」などの検査精度指標において、一定の水準を満たしている。

【利益・不利益のバランス感覚】

検査精度を追い求めすぎると検診の不利益が増すことを理解している。

例えば、「生命予後に関与しない可能性のある比較的小さな早期がん」を発見するために観察に時間をかけてしまうと検査効率が低下し、生検施行率が高くなると費用対効果が減少して偶発症のリスクも増大する。「質的診断は精密検査（専門医）に委ね、ある程度の存在診断まで」との割り切りも必要である。

また、検査の受容性向上のために鎮痙剤・鎮静剤・鎮痛剤・麻酔・麻薬などの薬剤を多く使用して、無理に盲腸への到達を目指そうとすると偶発症のリスクが増大する。出来るだけ使用薬剤を減らし、痛みを訴える場合には「時間をかけずに早い段階で検査を中止し、専門医への紹介を決断すること」も偶発症を避けて検査効率を保つために重要である。

【精度管理と啓発活動】

ただ検査を行うだけでなく、受診勧奨や追跡調査を実施して精度管理を行い、学会集計や有効性評価などの疫学的調査に結果を反映させる。

さらに、それらの客観的なデータをもとに住民（時には医療従事者）への正しい検診についての啓発活動を行う。

## ②「熊本市胃がん検診における当センターの内視鏡検査の成績（特徴）」

医師 上田城久朗

熊本市では2019年4月より対策型検診として胃内視鏡検査における胃がん検診を行っている。2019年4月から2021年3月までの2年間で当センターを含む胃内視鏡検査（検診）実施機関で7022件の対策型検診が行われた。

7022件中、30例の胃がん症例と5例の食道がん症例を認め、同時期の当センターでの熊本市胃がん検診における胃内視鏡検査244件で胃がんを1例、食道がんを3例認めた。自施設を除く他施設（群）と自施設の胃がんと食道がんの発見についてChi-squared testで統計学的解析を行ったところ、胃がんについてはp値1.0・オッズ比0.96であったが、食道がんについてはp値<0.001・オッズ比42.17と有意差を認めた。当センターで行った熊本市胃がん検診における胃内視鏡検査のプロセス指標を算出したところ、全項目で目標値ないし許容値を達成していた。

対策型検診における当センターでの胃内視鏡検査について、さらに検討を追加して報告する。

## （3）第51回 日本消化器がん検診学会九州地方会

令和4年9月10日

宮崎市 / WEB参加

### 「胃がん内視鏡検診で偽陰性となった噴門部原発スキルス癌の1例」

医師 村上晴彦

症例は、52歳の女性。当センターでの上部消化管内視鏡検査では「萎縮性胃炎：わずかな異常」と診断していた。検診より3ヶ月後に上腹部痛・違和感が出現し、4ヶ月後に他院での内視鏡検査で「噴門部原発スキルス癌」と診断された。審査腹腔鏡検査で腹膜播種を認め「inoperable」と診断され、5ヶ月後より化学療法（mforfox6）を施行されたが、10ヶ月後に亡くなられた。

検診時に「食道胃接合部のびらん」を認めていたが、嘔吐反射によるスコープ接触の影響と判断していた。さらに内視鏡画像の見直しでは、「噴門部のSMT様隆起とヒダの途絶・融合」「食道胃接合部食道側のSMT様隆起」などが指摘可能であり、より慎重に観察を行っていたら検診時に診断可能な病変であったと考えられた。

噴門部はもともとスコープの影になりやすく、さらに過伸展による嘔吐反射・暖気の誘発のために観察がしづらくなることで病変を見落としやすい部位である。胃がん内視鏡検診で偽陰性となった「噴門部原発スキルス癌」を経験したので文献的考察を加えて報告する。

## 7 その他

### (1) 熊本県集団検診機関連絡会

当センターが事務局として、県内10ヶ所の集団検診機関及び行政との連携協力を図ることを目的に例年2回の定例会を開催している。本年度は令和4年6月29日（水）に定例会、令和5年2月10日（金）に定例会及び専門部会を熊本市において開催した。

### (2) 熊本県胃検診推進協議会

当センターが事務局として、胃集団検診機関並びに胃がん精密検査機関の精度向上と健診業務等の円滑な推進を目的に研修会を開催した。

#### ①令和4年10月1日（土） 熊本市

「早期胃癌の時代的変遷と超高分化腺癌の診断と分類  
—— 再考を含めて ——」

A I I 病理画像研究所 所長 岩下 明德 医師

#### ②令和5年3月10日（金） 熊本市

「消化器疾患領域の核医学診療 —基礎・実践から将来展望まで—」  
国立大学法人 熊本大学病院 講師 白石 慎哉 医師

#### ③令和5年3月11日（土） 熊本市

「消化管領域における画像診断の知識と応用  
—大腸CTやDual-energy CTを中心に—」  
国立大学法人 熊本大学病院 診療助手 林 奈留美 医師

### (3) 全衛連九州地方協議会

令和5年1月26日、全衛連九州地方協議会を幹事機関としてホテル熊本テルサで開催した。全衛連の相澤会長、亀澤専務理事はじめ九州の全衛連加盟機関13機関で協議を行なった。

### (4) 結核予防全国大会

令和5年2月14日、15日、結核予防会総裁秋篠宮皇嗣妃殿下に御臨席を賜り、第74回結核予防全国大会をホテル日航熊本で開催した。結核対策の「今」～災禍を乗り越えて～をテーマに2日間開催し、全国から各々約300名の結核予防関係者に御参加いただいた。結核予防会本部や熊本県等の御指導、御協力をいただきながら、新型コロナウイルス感染症のまん延以降初めて、対面にて開催することができた。

## (5) 主な行事

月	日	名 称	場 所
4	1	職員採用辞令交付式	熊本市
5	15	リレー・フォー・ライフ・ジャパン2022(動画配信)	熊本市
	17	令和3年度に係る事業及び会計監査	熊本市
6	2	第1回理事会	熊本市
	20	定時評議員会・臨時理事会	熊本市
	29	第1回熊本県集団検診機関連絡会	熊本市
9	1-7	職員採用試験(一次)	宮崎県
	2	日本対がん協会 がん征圧全国大会(オンライン)	熊本市
	23	ヘルシーデー	熊本市
	28・29	職員採用試験(二次)	熊本市
12	21	地域保健研修会	熊本市
	28	仕事納め式	熊本市
1	4	仕事始め式	熊本市
	10	安全祈願式	熊本市
	26	全衛連九州地方協議会	熊本市
2	1	定期人事異動辞令交付式	熊本市
	10	第2回熊本県集団検診機関連絡会	熊本市
	14-15	第74回結核予防全国大会	熊本市
3	14	第2回理事会	熊本市
	27	熊本県総合保健センター永年勤続者表彰	熊本市
	31	職員退職辞令交付式	熊本市

## (6) 学会・研修会等参加状況

月	日	名称	場所
4	8	令和4年度熊本県がん従事者(機関)認定協議会乳がん部会	熊本市
	18	第81回日本医学放射線学会総会	WEB
5	13	第103回日本消化器内視鏡学会総会	WEB
	21	佐賀県がん登録研修会	WEB
6	1	日本超音波医学会第95回学術集会	WEB
	2	日本がん登録協議会第31回学術学会	WEB
	15	第63回日本臨床細胞学会総会(春季大会)	WEB
	19	第195回日本医学放射線学会九州地方会	WEB
7	2	保健活動を考える自主的研究会	WEB
	20	令和4年度特定保健指導担当者研修会	WEB
8	30	令和4年度熊本県健康づくり実践講座	熊本市
	19	第74回日本産婦人科学会学術講演会	WEB
9	2	第58回日本医学放射線学会秋季臨床大会	WEB
	12	第63回日本人間ドック学会学術大会	WEB
	10	第51回日本消化器がん検診学会九州地方会	WEB
10	15	第31回日本婦人科がん検診学会総会・学術講演会	横浜市
	15	全衛連 胃X線検査ONLINE研修会	WEB
11	1	肺がん検診従事者講習会	熊本市
	5	第21回乳房超音波技術更新講習会	大阪市
	28	令和4年度糖尿病予防対策関係者研修会	熊本市
12	1	特殊健康診断ONLINE研修会	WEB
	18	第193回マンモグラフィ技術更新講習会	愛知県
1	6	令和4年度熊本市国保生活習慣病重症予防化予防研修会	WEB
	27	日本健診総合医学会第51回大会	東京都
	11	第196回日本医学放射線学会九州地方会	久留米市
2	12	第24回乳房超音波技術更新講習会	福岡市
	14	令和4年度熊本県がん検診従事者(機関)認定協議会胃がん・大腸がん部会	WEB
	14	令和4年度第2回生活習慣病予防健診及び特定保健指導実施機関会議	WEB
	18	第38回熊本県臨床細胞診学会学術集会・総会	熊本市
	19	第194回マンモグラフィ技術更新講習会	福岡市
	19	日本消化器病学会九州支部第28回教育講演会	福岡市
	22	令和4年度アルコール・ギャンブル等依存症対策セミナー	WEB
	25	令和4年度熊本県がん検診従事者(機関)認定協議会子宮がん部会	WEB
3	8	社会保険事務講習会	熊本市
	9	熊本県温泉部協会令和4年度温泉セミナー	益城町
	18	第28回日本女性医学学会ワークショップ	栃木県
	19	第85回細胞検査士ワークショップ	久留米市
	22	令和4年度診療放射線技師研修会	WEB

※ WEB開催については、学会等の配信開始日を記載。

令和4年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和5年6月

公益財団法人 熊本県総合保健センター